

禁断の南チベット踏査 変貌するチベット（2016年11月）

—未踏の山城、最後の辺境は今、外国人規制、開発のパラドックス—

中村 保

早く解明すべき課題の山城であった。2014年秋に踏査に入ったが天候に恵まれず、許可問題もあり不完全燃焼に終わった。心残りだった。2016年秋、老年探検隊はいつもの相棒、永井剛さんと捲土重来を期し準備を進めた。インド国境に近いという理由で南チベットへの外国人規制はますます厳しくなっていたが、許可取得を前広に進めた。2014年には入れなかった垂涎の金東郷への許可は無理を押しして手に入れた。最終許可は公安局と人民解放軍西藏軍区である。しかし、許可証に記載の町、郷と幹線道路から外れてはならないと厳しい条件がつけられていた。表向きは従わざるをえないが、有能なガイド、アワンの機転で成果を上げることができた。

探査の主な対象は禁断の林芝地区朗県、ヤルン・ツアンポー南岸のボボナン（Bobunung）氷河山塊を囲繞する6,000m峰の山塊とその東のセルリカ6,000m峰である。さらに西の加查県ヤルン・ツアンポー南岸の天を突く岩峰の山塊とヤルン・ツアンポー北岸の聖山ウォルデ・コンゲの主峰を確認することも意図した。ボボナン山塊は谷筋から姿を捉えることはたいへん難しい。今まで一度も世界の登山界で紹介されなかったエリアである。今回は連日快晴に恵まれ11月8日から12日までに探査を終えることができた。

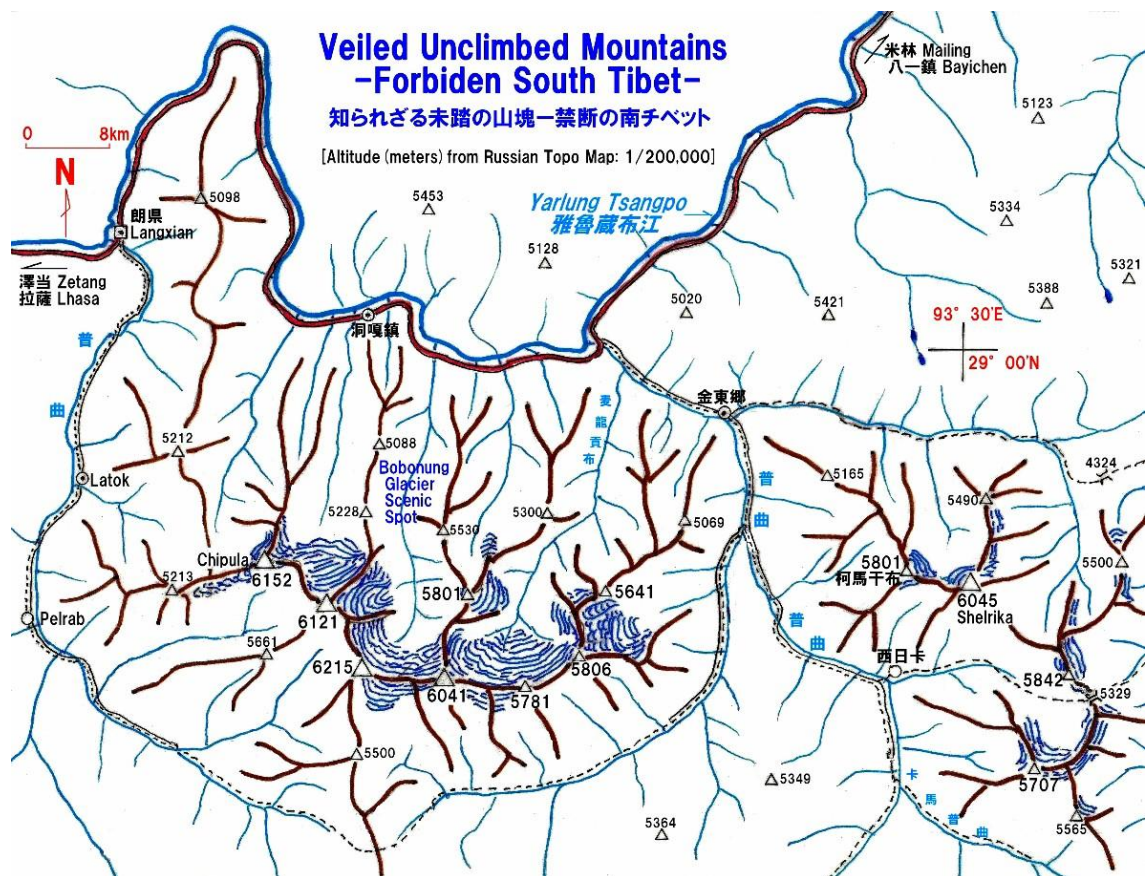
禁断の南チベット踏査—許可問題



禁断の南チベット踏査は、外国人規制がますます厳しくなっている。日々地区と県の公安が我々の行動を監視されつつ神経を使いながらヤルン・ツアンポー南岸の未踏の山塊を踏査した。11月8日成都を出発して林芝空港に降り立つ。許可証を厳重にチェックされる。林芝地区の中心・チベット第三の都会、八一鎮で公安に届け出を済ませ米林に向った。

二年ぶりのチベットの発展と変貌は想像を超えていた。習近平政権のチベット族の締付と外国人規制はますます厳しくなっている。チベット自治区のチベット族はパスポートを持ってない。青海、四川のチベット族に対しても同様の規制が始まっている。

中国人全般にわたり腐敗撲滅の動きは加速しており下級役人にまで及んでいる。部長レベル以上の高級官僚はパスポートを政府に預けさせられていて勝手に外国には出られない。香港に行くにも政府の許可が要る。国外逃亡を防ぐためだ。チベットも例外でない。その日のうちに解放軍の基地の町、ツアンポー沿いの米林に入る。



今回の許可取得は今までになく面倒で厳しかった。従来はそれぞれに関係部に同時に並行して申請できたが、2016年は持ち回りで一か所ずつ許可を取らねばならなかった。四つの許可を取ったが、軍関係と公安局が決め手である。

西藏自治区外事办公室—外国人非開放地区への入域許可通知

西藏自治区軍事施設保護委員会办公室通知書簡

通過許可路線：

林芝（入境場所）—魯朗—米林（公路沿線）—朗県—加查（公路沿線）—桑日—澤当—拉薩（出国場所）

厳守すべき原則：

1. 担当部門（旅行社）のガイドが同行、通過許可路線外での行動不可（厳格に規制）。
2. 中国軍事施設に関する法律を順守
3. 軍事施設及び警察関係施設の撮影禁止
4. 上記原則を順守しなかった担当部門（旅行者）の資格剥奪

西藏公安边防総隊外国人旅行者出入境通知

西藏自治区旅遊發展委員会通知（担当部門：西藏尼威国際旅行社宛）

通過許可ルート：

成都—林芝—魯朗—米林—朗県—金東郷—加查県—桑日—澤当—昌珠寺—拉薩—加都

内部文件，不得外传。

西 藏 自 治 区 軍 事 設 施 保 護 委 員 會 办 公 室 (函)

军保〔2016〕1495号

复NW-XD161107团进藏旅游事

西藏尼威国际旅行社:

经审核，拟同意你单位接待NW-XD161107团一行贰人，于二〇一六年十一月七日至二〇一六年十一月十七日在藏旅游，从军事设施安全考虑，可沿以下路线活动：林芝(进藏)—魯朗—米林(公路沿線)—朗县—加查县(公路沿線)—桑日—澤当—拉薩(出藏)。

姓名和护照号：NAGAI TSUYOSHI/MU2583709/NAKAMURA TAMOTSU/TH4987808。

应遵循以下原则：

- 一、接待单位必须派人实行全程陪同，严格按照规定路线活动，不能超越指定范围和离道行动；
- 二、必须严格遵守我国军事设施保护相关法律、法规和政策规定；
- 三、严禁拍摄我区军事设施及有损我军警形象的影像资料；

四、进入非开放地区拍摄的一切影像资料，必须经审查密封之后方可出境；

五、此函件仅限内部使用，接待单位不得复印和擅自扩大使用范围，团队接待结束后，任何个人不得私存此函原件，由接待单位清理收回登记销毁。

有违反上述规定之一，将严肃查处，追究接待单位和负责人的责任。

(限二〇一六年十一月十七日前有效)

此件任何形式的涂改和复印都一律无效。

西藏自治区軍事施設保護办公室
二〇一六年十一月二十四日

主题词：对外开放 外事管理 函

抄 送：西藏自治区外办 (共2份)

承办单位：作战处 联系人：姚乾勇 电话：08916738848

— 2 —

西藏公安边防总队外国旅游团队入出境确认（函）

藏公边（检）〔2016〕第 6211 号



西藏尼威国际旅行社：

兹确认 NW-XD161107 旅行团一行贰人，2016 年 11 月 07 日成都入（藏），2016 年 11 月 17 日拉萨出境（藏）。主要前往拉萨、林芝、山南手续齐全，已在我处备案。接待单位和旅游团所有行程应遵循以下原则：

- 一、接待单位必须全程陪同，严禁出现甩团现象，一经发现，将通报旅游监管部门进行严肃处理。并将按照有关规定对接待单位进行严肃处理。
- 二、旅游团如发生影响我区安全的问题，接待单位应负一切责任。
- 三、严格遵守公安边防各项法律、法规和管理规定。
- 四、此件请妥善保管，遗失不补。（此件不收费 NO COMMISSION FEE）

二〇一六年十月二十八日

軍事施設保護員会の許可条件に明記されているように、通過路線から外れて行動することが禁止されている。踏査にあたりこの規制が最大の障害である。許可ルートの外に出なければ未踏の山にはアクセスできない。公安・警察の監視の目を潜っての行動を余儀なくされた。ガイド、アワンの才覚に負うところ大きい。

インド国境（マクマホンライン）に接する県への外国人の規制は特に厳しい。脱墨、米林、朗県、隆子、錯那、措美、洛扎の諸県がその対象である。

11月9日、米林、2,950m、8:00am 0℃、快晴。踏査の第一歩を踏み出す。ヤルン・ツァンポー沿いに公路 306 号線を西へ、米林県と朗県の県境の公安に出頭、公路から離れて最初の目的地、金東郷に入る。この公安派出所は直ちに朗県県都の公安に連絡、逐一我々の行動を監視する。

金東郷は公路から外れており、入城許可を取るためにエージェントは苦勞し、余計な費用がかかった。金東郷の幻の未踏峰 Shelrika 6,045m 南面の姿を写真に収め、更に東を踏査することができた。この日は東へ進み、夕刻朗県県都に着く。先ず公安に出頭したところ、何処で道草を喰っていたのかと文句を言われ、公安指定のホテルまで警官がついてきた。



Bobonang 山塊の秀麗な 6,000m 未踏峰

初めて目にした未踏の Shelricka 6045m

11月10日、朗県、3,110m、7:45am 3°C、快晴。垂涎の Bobonung Glacier Scenic Spot 氷河景区に入る。ヤルン・ツァンポー沿いの公路から 16km の谷である。Bobonung 山塊は四つの 6,000 峰と三つの 5,800m 峰が北面に氷河を懸ける。公路からは一部を除いて山容を覗くことはできない。2014 年秋に Bobonung 氷河景区に途中まで車で入ったが天気がわるく山を見ることはできなかった。今回は快晴に恵まれ、車道の終点から 4,500m の村落まで入ることができた。氷河を懸ける 6,000 峰に圍繞された隠れ里である。勿論、外国人としては我々が初めてであり、所期の目的を達成することができた。

10月11日、朗県、7:45am 5°C、快晴。西に向う。ダライラマ 13 世生誕記念館を訪れ、達拉崗布神山の外国人オフリミットの Dalha Gampo 僧院 (4,180m) を訪れ Bobonung 山塊西面の写真を撮る。この日は加查に泊る。

10月12日、加查、3,350m、8:00am 4°C、快晴。ヤルン・ツァンポー南岸の圧倒的に聳える未踏の岩峰群 Nyel Japo 6,150m と Lang Lha Risang ca. 5,700m を写真に収めたあと、ヤルン・ツァンポー北側の谷に入り、郭喀拉日居山群 (Goikarla Rigyu Range) の聖山 Mt. Worde Konggye 5,998m の山塊を探り、チベット第四の都会 (南チベット最大)、澤当まで行く。翌日ラサに到達する。

ツァンポー峡谷—開発のパラドックス

林芝空港から米林はヒマラヤ東端の難峰ナムチャバルワ 7782m (1992 年に日本山岳会・中国合同隊が初頂登) を圍繞する世界最大のキャニオン、ツァンポー大峡谷観光の入口であり、五つ星のホテルが建ち、シーズンには中国人観光客で賑あう。しかし外国人は、インドとの国境に近いという理由でオフリミットという奇妙な現象が起こっている。

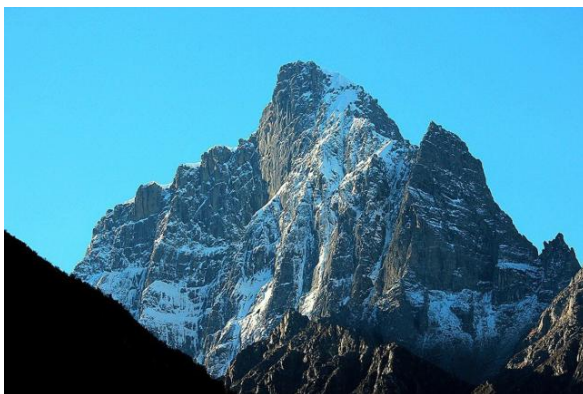


ヤルン・ツァンポー工事現場



鉄道の橋脚

我々の踏査は米林からチベット第五の都会、澤当までの間、ヤルン・ツァンポー峡谷沿いの朗県、加查県、桑日県で許可取得が一番難しいところである。外国人の目に触れない嘗ての秘境は建設の槌音が響いている。省都ラサから八一鎮まで 500 km のトンネルと橋梁で結ぶ鉄道建設とダム建設が突貫工事で進められている。ダムは既に一つ完成、ダム湖が出現している。上流に新しいダムを建設中。峡谷は工事現場と化している。



ダム工事現場から見上げる 6000m の岩峰

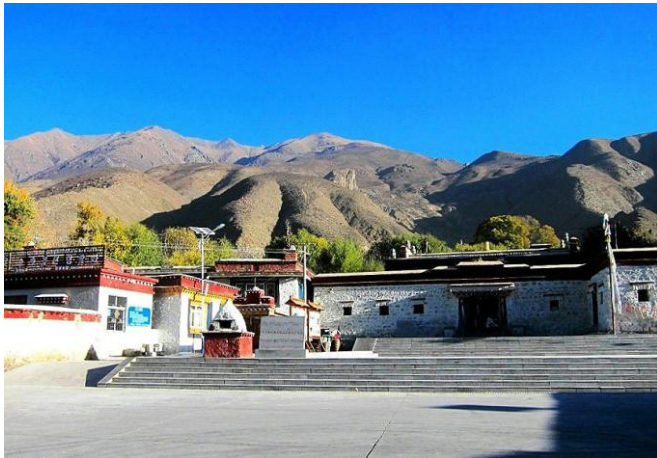


完成したダム、加查付近

鉄道は東へ川蔵公路沿いに四川省の成都まで伸ばす計画である。西ではシガツェから新疆省のカシュガルまで計画されている。やがて聖山カイラス巡礼は高原鉄道で、という時代が来るかも知れない。ただこの鉄道はまだ未着工である。他にも世界第二の規模の銅鉞山開発、新たな青蔵公路の高速道路などチベットの開発のスピードは驚くべきものである。中国経済の減速が報じられるなか、BBC 放送によるとチベット自治区は年率 11・2% の高成長を維持している（中国各省のなかで最大）旺盛な公共投資がチベット発展の原動力である。ニュー・フロンテアのダイナミックな鼓動が聞こえてくる。厳しく管理統制されているチベット族だが経済的な恩恵は被っている。

様変わりしつつあるヤルン・ツァンポー流域だが、チベット文化発祥の土地であり、チベット仏教寺院と歴史的事跡は多い。ガイド・アワンの薦めで朗県と加查の間のダライラマ13世生誕の記念館に行く。敬虔なチベット族の来訪が絶えない。13世の波乱万丈の生涯は心を打つ。13世以前のチベットは完全に鎖国したミステリアスな国であった。13世が初めて世界の文明を取り入れた。近代的な諸制度を導入、郵便網を整備、電話も設置した。しかし、1904年英国のヤングハズバンドの軍隊がラサ侵攻をした時モンゴルに6年間亡命した。

記念館に飾られている肖像画は13世がお気に入りのモンゴル服の姿である。清朝のチベット侵攻の際はインドに亡命、その後もシッキムにも亡命した。清朝が亡んだ中国革命の後亡命先からラサに帰った。開明的な13世だったが54歳でこの世を去った。下の写真は記念館と肖像画である。



変貌するラサ

ラサの都市化も急激である。区画整理された道路に車が渋滞する。オフィスビル、高層アパートも建設も目につく。外環道路が新たに建設されている。百貨店も現代的で日本並みである。香港スタイルの大型ショッピング・モールもできている。地下1階は巨大なスーパー・マーケットで熊本とんこつラーメンの店が流行っている。地上1階にケンタッキー・フライドチキン、シンガポールの有名なバンの店、1-3階はブランド店、化粧品（日本製あり）など高級店が揃っている。4階はレストラン街である。ラサ市では半数以上は漢族が住んでいるだろうが、とにかく活気があり、購買力の大きさが感じられる。



デパートは日本と変わらない



ショッピング・モールのネオンライト

2009年に交代した二人のガイドについても触れたい。現在のアワン、以前のタシについてである。二人とも英語は堪能であり、ガイドから事業家に転進した。二人を夕食に招待して語らった。タシは敬虔な仏教徒でタンカ（仏画）の絵師でもあった。近年、建設ブームに乗り、ラサ近郊の巨大な銅鉱山開発の建設にかかわる下請業者となり社長業に勤んでいる。可愛い奥さんと立派なセダンでやってきた。アワンは輸入商品ショップとレストランをポタラ宮の裏手の新界知で営業している。二人の成功は嬉しい。いいガイドに恵まれた。アワンの不満はパスポートが取れないことである。五年前まではパスポートは取れたのに、今は特別のことがない限りできないという。

アワンやタシのようにラサのチベット族は時代の流れに順応して自分たちを生活設計をしていることを実感する。チベット族も子供の教育には熱心で、中国の都会でみられるように、小学生の息子の下校時には車で迎えにいつている。ラサ市街の新しい風景である。高層アパートが建てられている一方でチベット族の宗教心は衰えていないようだ。朝まだき、ポタラ宮を一周するミニ・ユーラ（巡礼）のチベット族の賑やかな列が見られる。チベット族の精神は時代の風雪に耐えているようだ。



オフィスビルとアパートの建設ラッシュ



ラサーシガツェ 270km の鉄道も盛況